

萩の台線の運行見直しに向けた検討（追加資料）

1. 地元関係者との打合せ協議結果（9月22日（木）に実施）

<地元協議の主な意見> ※萩の台線の見直し案に対する意見等

【見直し案①運行時間帯の縮小】

- ・午後の便がなくなると、ダイキ周辺での食事後にバスで帰ることができなくなる
- ・病院での診察が12時を超えることがあるので、午後の便は必要
- ・帰りが上り坂なので、帰りの便の確保のほうが大切
- ・15、16時以降は利用者が少ないが、会社帰りに利用する方もいる

【見直し案②運行日の縮小】

- ・時間帯が限定されるよりも運行日が限定される方が利用しやすい
- ・木曜日は休診の病院が多いため、運行なしでも問題ない
- ・月曜日は祝日や振替休日が多いため、見直し後の運行候補日にしないほしい
- ・土曜日の運行を検討してほしい

【その他】

- ・車両をセダン型にすると、コストは抑えられるかもしれないが、満員で乗車できない可能性があるため、今の車両のままが良い
- ・地元負担が出るぐらいなら、運賃を200円から250円に上げるほうが良い
- ・パターンダイヤの方が利用しやすい

※デマンド方式への変更案については、賛成する発言はなかった



<地元協議を踏まえた事務局案>

地元との協議結果を踏まえて、次を事務局案とする。

見直し案②運行日の縮小+運賃250円

※事前配布資料の②-2案

2. 今後の予定（実現に向けた課題）

萩の台線の運行日の縮小案の実現に向けて、以下の課題点を精査・検証する予定である。

<実現に向けた課題点>

- ①萩の台線の運行日の決定（地元意見としては、火・水・金などの要望があった）
- ②萩の台線の運休日の車両の使い方（運休日は、別の既存路線（有里線など）か新しい地域での運行（週に1回の買い物便としての実証運行等）を検討する）
- ③萩の台自治会との協議（運行ダイヤや地元負担金等に対する意見収集）
- ④萩の台線の利用促進 等